

「ふくしま」と歩む小名浜港～未来への羅針盤

小名浜港長期構想（概要版）

「高度な物流機能と豊かな交流空間を兼ね備えた魅力ある港へ」

平成28年12月 福島県

【小名浜港長期構想について】

1 長期構想とは

「長期構想」とは、「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン（国土交通省H20.4）」に基づき、20年から30年程度先を見通した小名浜港の将来像を描くものです。

2 長期構想と港湾計画改訂の関係

小名浜港の「港湾計画」は、平成15年の改訂以降12年が経過しており、東日本大震災等による社会経済情勢の変化に伴い、小名浜港を取り巻く環境も大きく変化していることから、これらの変化に対応するため平成40年代前半を目標とし、今年度末を目途に改訂を行う予定で、「長期構想」を受けて、短中期的施策を抽出し、10年から15年程度先を目標とした港湾の施設配置計画や、土地利用計画などを定めるものです。

【1 小名浜港が果たす役割】

◆小名浜港の将来像

- 南東北地域から、東日本地域の物流拠点を目指す。
- 観光振興を支える県内の交流拠点として、更なる飛躍を目指す。
- 震災の教訓を忘れず、確実に機能する防災拠点を目指す。

小名浜港の特徴

- ・福島県・東北地方の産業活動を支える基盤・物流拠点
- ・石炭など燃料の輸入・供給拠点（国際バルク戦略港湾）
- ・福島県内有数の観光拠点
- ・水産業の拠点

関連計画などの位置づけ

- ・港湾機能の強化・高度化
- ・産業の強化・誘致・創出
- ・みなとの賑わい創出
- ・水産業の振興

【小名浜港が果たす役割】

地域産業やエネルギー供給を支える物流拠点

地域の賑わいや観光振興を支える交流拠点

災害時に市民生活や企業活動を支える防災拠点

小名浜港の要請・課題

《港湾機能の強化・高度化》

- ・滞船の解消
- ・大水深岸壁の確保
- ・野積場・倉庫・産業用地の確保
- ・コンテナサービスの拡充

《みなとの賑わい・交流》

- ・みなとの賑わい創出
- ・市街地と港湾の連続性の確保
- ・マリーナ施設の復旧・再建
- ・クルーズ客船の誘致と対応

《防災・安全安心》

- ・航路・避泊水域の確保
- ・静穏度の確保
- ・施設の老朽化・陳腐化への対応
- ・安全・安心なみなとづくり
- ・地震・津波などの自然災害への対応（ソフト・ハード）
- ・災害時物流の確保

【4 イメージパース】

※理想とする将来のイメージであり、このうち短中期的施策を抽出し港湾計画へ位置づけます。



【2 目指すべき方向性】

地域産業やエネルギー供給を支える物流拠点

- (1) 船舶の大型化に対応する国際物流ターミナル機能の確保及び強化
- (2) 港湾全体の利用再編や交通ネットワーク強化等による効率的・効果的な港湾機能の確保

地域の賑わいや観光振興を支える交流拠点

- (3) 臨海部における親水空間の形成やクルーズ客船の誘致による交流空間の創出
- (4) 地域社会との協働・連携による観光振興やみなとまちの賑わい創出

災害時に市民生活や企業活動を支える防災拠点

- (5) 東日本大震災を踏まえた安全・安心の確保

【3 実現に向けた取組み】

(1) 東港地区における国際物流ターミナル機能の確保・強化

- Ⓐ大水深岸壁、臨港道路等の整備や拡張による用地の確保
- Ⓑ広域的な海上ネットワークの構築

(2) ①ふ頭利用再編等による物流用地（野積場等）や新産業用地等の確保
 ②大剣地区におけるコンテナターミナル機能の強化
 ③小名浜港と常磐自動車道を直結するふくしま復興再生道路(小名浜道路)の整備促進・利活用
 ④背後地とのアクセス道路(県道小名浜平線)の整備促進・利活用
 ⑤臨港道路や水域施設の整備による水産物の円滑な流通ルートの確保
 ⑥臨港道路の機能向上等による円滑な交通環境の確保

- Ⓒ船型に応じた岸壁利用や貨物集約による既存ふ頭の用地確保
- Ⓓコンテナターミナルの拡張や岸壁整備、広域的なポートセールスの推進
- Ⓔ小名浜道路の整備促進や利活用
- Ⓕ小名浜平線の整備促進や利活用
- Ⓖ臨港道路栄町ふ頭内線や三崎航路の整備
- Ⓗ臨港道路の附帯施設や情報施設等の整備

(3) ①多様な親水空間の創出や海面の利活用
 ②既存ふ頭等でのクルーズ客船受入環境の確保、クルーズ客船の誘致に向けた取組みの推進
 ③小名浜港マリーナの復旧・復興

- ①親水空間の拡充（1・2号ふ頭及び3号ふ頭、東港地区）や海面の蓄養施設等への利用
- ①既存ふ頭でのイベント船、クルーズ客船の受入調整や誘致、受入体制の充実強化
- Ⓖ小名浜港マリーナの早期復旧によるマリンスポーツなどの振興。

(4) ①地域社会との協働・連携による観光振興に向けた取組みの推進
 ②広域連携による観光振興に向けた取組みの推進
 ③小名浜港の地域資源を活かした賑わい創出やサービスの向上

- ①みなと全体を観光資源として利活用
- Ⓜ広域連携による観光客の誘致や外航クルーズ客船の誘致
- Ⓝ市民活動等に対する港湾活用の支援や集客施設としての魅力・サービス向上

(5) ①地域防災計画に基づく緊急物資輸送ルートの確保、港湾BCPに基づく実施体制の確立
 ②他港での災害時におけるバックアップ機能の確保、広域的な海上輸送ネットワークの構築
 ③津波避難施設や避難路等の確保と避難体制の確立
 ④船舶の情報共有体制の確立
 ⑤外郭施設・水域施設の整備による港内静穏度の向上、船舶の航行安全及び避泊水域の確保

- Ⓞ耐震強化岸壁の整備、緊急物資輸送ルートの拡充や港湾BCPの充実
- Ⓟ災害時の広域的な海上輸送ネットワークの構築
- Ⓠ津波避難ルートや津波避難施設等の確保
- Ⓡ国際VHF（船舶共通通信システム）を活用した情報共有
- ⑤第二沖防波堤、神白防波堤等の整備による静穏度向上、避泊水域確保